

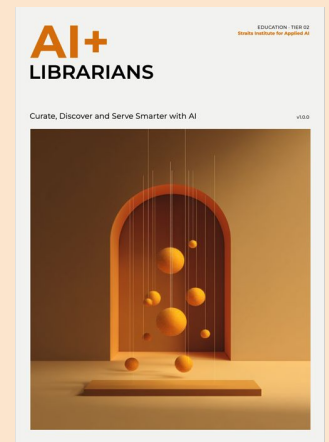


AI+Library-1冊の本に 収録されているもの

AI+ シリーズは、ただ一つの目的のために厳密に設計されています。読者が**職場ですばやくAIを実際に使いこなせるようになること**です。

同じ職種は二つとありません。しかし、すべてのAI+ タイトルは **一貫した編集フレームワークとメソッド** に従っています。だからこそ図書館は、自館が何を選書しているのかを正確に把握できます。実践的で、最新で、職務・スキル別に編まれた**AI レファレンスブック**が、シリーズ全体で同じ構成を保っています。

AI+ が教えるのは「**応用としての AI**」、理論ではありません。



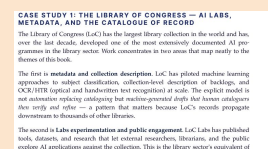
プロンプトライブラリ	実例ケーススタディ
その職務のためにそのまま使えるプロンプト集。各分野の専門家が設計。	現場から集めた最良の事例。それぞれに「これはあなたにとって何を意味するか」を付記。
AI 活用フレームワーク	最新ツール概観
その職務において AI をプロンプトし、評価し、安全に使うための手法。	その分野で実際に利用できる AI ツールの最新調査。

AI+ の違い — **6か月ごとに更新** すべてのタイトルのツール・統計・技法は6か月の固定サイクルで刷新されます。買い直しも再目録作業も不要で、蔵書は分野の進展に合わせて常に最新の状態に保たれます。

一例として、シリーズの一冊AI+ Librarians (T2-66) を取り上げ、AI+ レファレンスブックならではの特長をご紹介します。
AI+ の全タイトルに共通する独自の価値

01 業界の現在地 (State of the Industry) 各書は、その職種が AI といまどう向き合っているかの市場調査から始まります。実際の導入データ、うまくいっていること、いっていないこと、そしてこの分野がどう歩んできたか。読者は誇張ではなく現実から出発します。

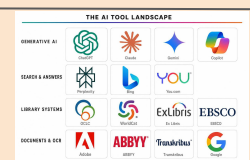
02 実例ケーススタディ (Real-World Case Studies) すべての書籍が、そのスキルを現場の最良の事例で裏づけます。先進的な組織が実際に AI をどう業務に組み込んでいるか。各事例は「これはあなたにとって何を意味するか」という平易なまとめで締めくくられます。



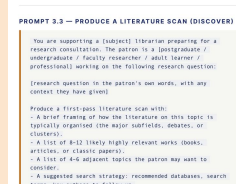
03 職務特化型フレームワーク (Role-Specific Frameworks) 一般論ではなく、その仕事のために作られた記憶しやすく再利用できるモデル。AI+ Librarians では、司書業務-AI マップ、プロンプト用の PRISM、評価用の TRUST、そして「収集-発見-提供 (Curate-Discover-Serve)」サイクル。

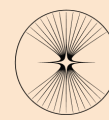


04 最新ツールとベストプラクティス (Latest Tools & Best Practices) AI ツールの現況をカテゴリ別に、日付入りで整理。成果につながる実務上の使い方と組み合わせて掲載し、6か月ごとに見直し・更新するため内容が陳腐化しません。



05 コピーして使えるプロンプトライブラリ (Copy-Ready Prompt Library) 番号付きの職種別プロンプトテンプレート。どの AI ツールにもそのまま貼り付けて使えます。目録作業、レファレンス、研究支援、利用者への連絡まで。初日から役に立ちます。



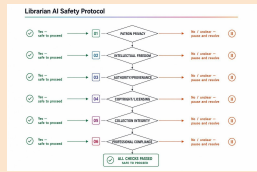


AI+Library-収録されているもの

06 「今すぐ試す」エクササイズ (Try This Now Exercises) 各章に配置された短い実践課題。読者自身の実際の業務を題材にその場で取り組みます。それぞれに学びを定着させる振り返りプロンプトが付属。(図版:第3章・「今すぐ試す」エクササイズ)



07 安全性・プライバシー・倫理 (Safety, Privacy & Ethics) 専門職倫理 — 利用者のプライバシー、知的自由、著作権 — を扱う専用章。実務で使える6項目のチェック手順に落とし込み、AIが実際の業務データに触れる前に適用します。(図版:第7章・セーフティ・プロトコル)



08 スキルチェック診断 (Skills Check Diagnostic) 読者が学習の前と後に受ける短い自己評価。その差分が、実際に身についた力を測ります。

09 30日スタータープラン (30-Day Starter Plan) 読者の実際のワークフローに沿った週単位の導入計画。本書を一過性の読書ではなく、続く習慣に変えます。

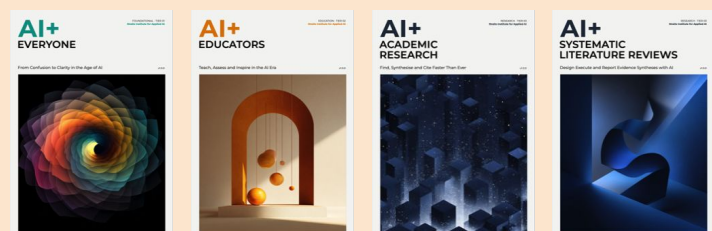
10 スキル宣言 (Skill Declaration) マイクロレデンシヤルに対応した正式な学習成果の記述。カリキュラム対応や認定のための「認証レイヤー」です。

11 完全なレファレンス機能 (Full Reference Apparatus) 用語集、ツール一覧、APA形式の参考文献、専門的な索引。読み終えたあとも長く使えるデスクレファレンスとして機能します。

プロンプト用 PRISM	品質評価用 TRUST	AI 安全性用 GUARD	タイトルごと + 職務特化
Persona (ペルソナ) Request (依頼内容) Intent (意図) Structure (構成) Model (モデル)	Traceable (追跡可能) Relevant (関連性) Unbiased (偏りが無い) Specific (具体的) Timely (適時性)	Gauge (見極める) Understand (理解する) Authority (権限) Risk (リスク) Decide (判断する)	AI+ Librarians では、業務-AI マップ、引用検証ループ、収集-発見-提供サイクル。

AI+ ライブラリ全体と積み上がる設計

一つのスキルが次のスキルの土台になります。すべてのタイトルが **同じメソッド** で作られているため、ここから読み始めた読者はそのまま積み上げていきます。4つのティアにわたる 300 以上のタイトル。



2019年設立 100+大学
15カ国 300+タイトル以上

AI+ の全タイトルは **エンジニアが執筆し、業界が検証** しています。執筆を担うのは **Straits Institute for Applied AI** — 自ら教える技術のシステムを実際に構築しているAIエンジニアリング企業の、研修・出版部門です。組織全体にひとつの信頼できる情報源であり、ひとつの一貫した基準となります。

全カタログのご請求、およびサンプル本のお申し込みはこちら。

books.straitsai.institute



会社名: iJapan株式会社

郵便番号: 120-0035

住所: 東京都足立区千住中居町7-20 5F-21

TEL: 03-4400-6977

email: info@igroupjapan.com

URL: <https://www.igroupjapan.com>